

平成18年3月15日
原子力安全対策課
(17-114)
<10時資料配付>

安全協定に基づく平常時立入調査の実施について
(関西電力に対する指摘事項の取組状況)

県および立地市町は、昨年5月、安全協定を改定し、この協定に基づき昨年10月から各原子力発電所等に対して、平常時の立入調査を計画的に実施している。

今年度は、「発電所従事者の被ばく低減を中心とした労働安全」および「放射性廃棄物の放出低減」に対する事業者の取組状況について、調査し確認を行っているところである。

立入調査により、改善が必要と判断された事項について文書で通知し、改善を求めているが、今般、関西電力(株)原子力事業本部への立入調査を実施し、労働安全に関して指摘した事項への取組状況を確認する。

県としては、この取組状況を確認することにより、同社の労働安全対策の強化が着実に進められ、さらにいっそう県民の安全、安心が確保されるよう取り組んでいく。

記

- 1 調査日時
平成18年3月16日(木) 10時～17時
- 2 調査場所
関西電力(株)原子力事業本部
- 3 調査内容
(1) 「発電所従事者の被ばく低減を中心とした労働安全」に係る
立入調査の結果改善を指摘した事項に対する取組状況
(2) その他
- 4 調査者
県……………森阪輝次 原子力安全対策課長 他2名
美浜町…岸本幸憲 企画課長 他1名
高浜町…岡本恭典 企画情報課長 他1名
おおい町…浜上雄一 企画課長 他1名

<参 考>

なお、当日の取材につきましては、関西電力(株)より別途案内を行う予定ですが、取材は冒頭のみとさせていただきますので、ご了承ください。

問い合わせ先(担当:熊谷) 内線 2353 直通 0776-20-0314
--